
ネットワーク構成に関する検討

1. ネットワーク構成の検討概要

検討のポイント

自動車保有関係手続をワンストップサービス化するに当たり、以下のネットワークについて検討した。

- ・申請者とインターフェースシステムとの接続
- ・インターフェースシステムと各行政機関との接続(都道府県警察・都道府県・運輸支局等・その他電子政府インフラ関連等)
- ・インターフェースシステムと各民間事業者等との接続(自動車メーカー・損害保険会社・指定整備工場等)

検討の方向性

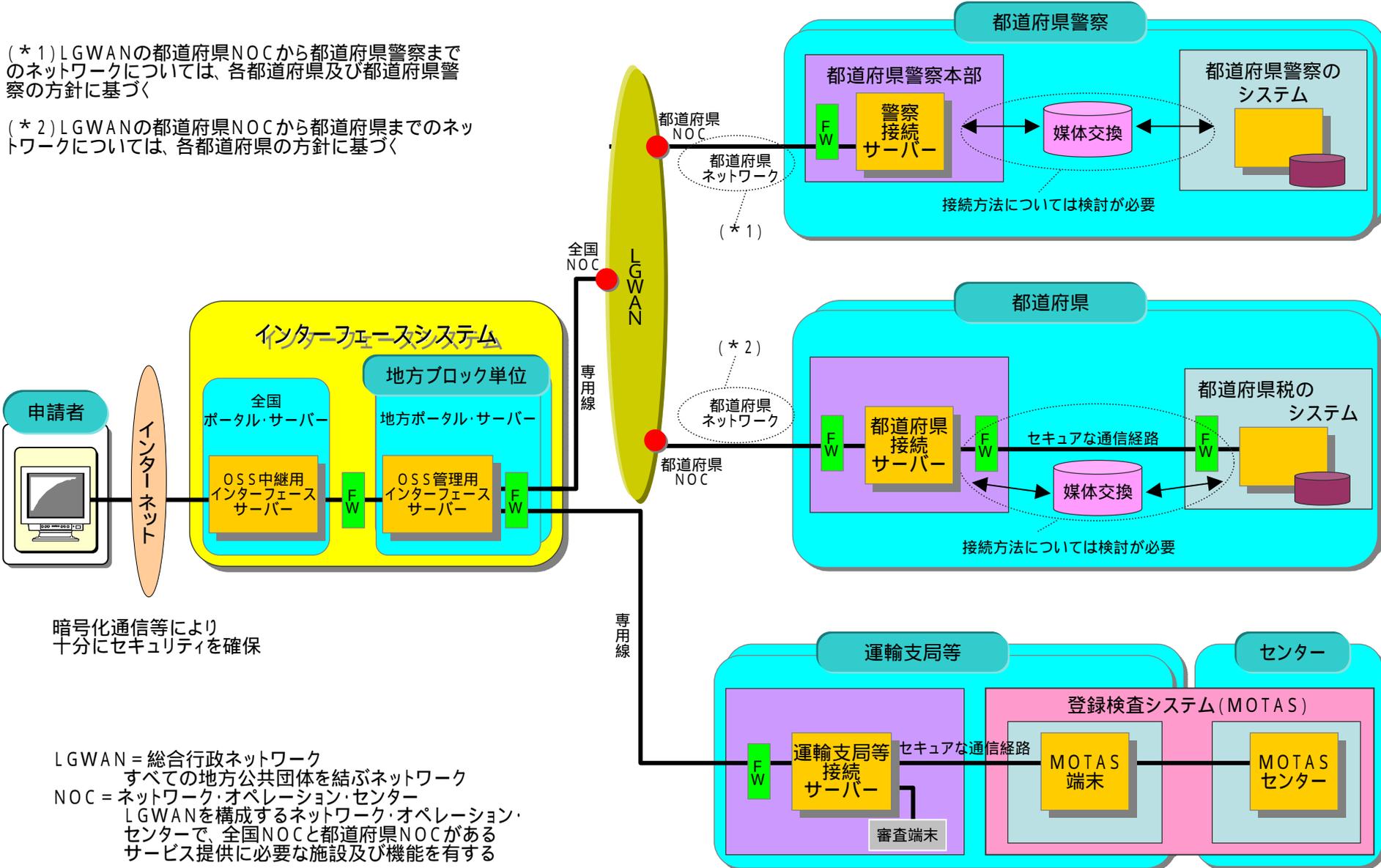
#	接続先	接続目的	接続先システム	インターフェースシステムとの接続方法	検討内容
	申請者	自動車保有関係手続の実施		インターネット	どの申請者からも容易に手続が可能であることを考慮して、オープンなネットワークであるインターネットを想定する。利用に際しては十分なセキュリティ対策を施す
	都道府県警察	自動車保管場所証明関連業務	都道府県警察のシステム	LGWAN (インターフェースシステムはLGWANの全国NOCに接続)	LGWANの都道府県NOCから都道府県警察までの接続形態については、各都道府県及び都道府県警察の方針に基づくものとする
	都道府県	自動車税・自動車取得税関連業務	都道府県税のシステム	LGWAN (インターフェースシステムはLGWANの全国NOCに接続)	LGWANの都道府県NOCから都道府県までの接続形態については、各都道府県の方針に基づくものとする
	運輸支局等	自動車検査・登録業務 自動車重量税関連業務	登録検査システム	専用線	登録検査システム(MOTAS)は活用可能な既存ネットワークがないことから、十分なセキュリティを確保しつつ、必要な通信容量を確保するという観点で、新たに専用線で接続する
	各行政機関(～を除く)	行政機関が提供するサービスの利用(個人認証に係る電子証明書の有効性確認等)	個人認証に係るシステム他の行政機関のシステム	行政機関が提供する各サービスの仕様に準拠	行政機関が提供しているサービスは特定の目的のために外部との接続を認めているものであり、それぞれに接続の仕様が定まっていることから、OSSについてもそれに準拠することを基本とする
	各民間事業者等	添付書類の取得等	民間事業者のシステム	未定	現在システム化されているものも多いが、具体的な接続形態については今後検討を要する。接続に当たっては十分なセキュリティが確保できる方法を採用する

上記のうち、現在OSSより方向性を示すことが可能な～について、インターフェースシステムと各接続先とのネットワーク構成案を以降に示す。なお～については、接続サーバーと既存システムとの接続方法についても現在想定できる範囲で示す。

2. ネットワーク構成案

(*1) LGWANの都道府県NOCから都道府県警察までのネットワークについては、各都道府県及び都道府県警察の方針に基づく

(*2) LGWANの都道府県NOCから都道府県までのネットワークについては、各都道府県の方針に基づく



暗号化通信等により十分にセキュリティを確保

LGWAN = 総合行政ネットワーク
 すべての地方公共団体を結ぶネットワーク
 NOC = ネットワーク・オペレーション・センター
 LGWANを構成するネットワーク・オペレーション・センターで、全国NOCと都道府県NOCがあるサービス提供に必要な施設及び機能を有する